

トピックス

東京都は7月6日に緊急輸送道路沿道建築物の耐震改修や建て替えでの環境整備を行う考えで、東京建設業協会と連携協定を締結した。4月に緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断義務化をスタートさせた都は、2015年度までに総額約500億円を投入して、建物所有者に耐震診断後の耐震改修を円滑に促す仕組みを構築する。

トグル®実績の紹介（福井赤十字病院管理棟耐震補強工事）

今回は東北地方を襲った地震発生の平成23年3月11日に着工した現場、福井赤十字病院様の事例をご紹介します。

オーナーの声

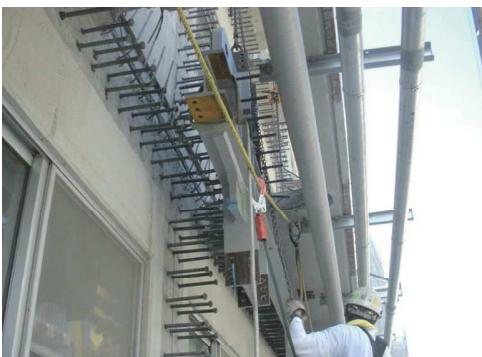
安心して病院の中枢機能としての役割を果たすことができるようになりました。

意匠的にもバルコニー内部へトグルを収めたことですっきりとした外観が実現しました。



◇工事概要

所在地	福井県福井市
竣工	昭和55年
構造・階数	RC造・地上5階、PH1階
延床面積	5,353m ²
設計	(株)本禄建築設計事務所
施工	飛島建設(株)/村中建設(株)



トグル基数：50基[1棟2基]
外付け
 × 25基
500kNタイプ

5F : 2基
4F : 5基
3F : 6基
2F : 7基
1F : 5基

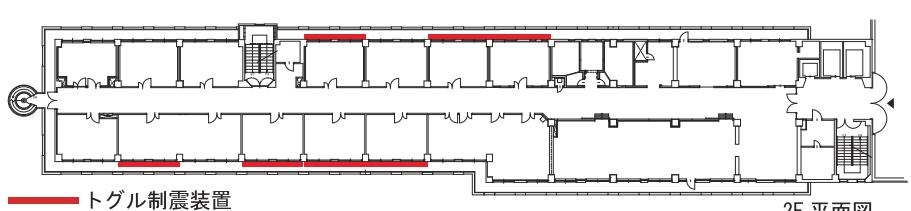
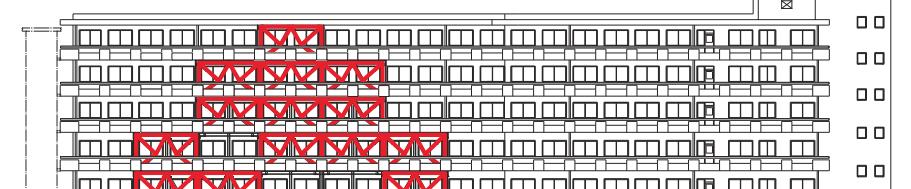
← 「バルコニー貫通外ペタ工法」
貫通している様子が伺えます

現場より

1階以外は使用しながらの施工で、病棟とも隣接した中の施工となりました。

今回トグル採用に至ったのは、内部への影響を少なくする点、バルコニーの撤去がない点が理由でした。

施工では、これまでの案件でも稀な「バルコニー貫通外ペタ工法」で、現場では計画段階から”アウトフレーム鉄骨部材をピース分け”するなど通常とは異なる施工をしました。



◆ひとりごと◆

7月に入り日本一高い山、富士山が山開きされました。11日には世界一高い自立式電波塔、東京スカイツリーの当日入場券が発売。

見たことのない風景、全てを見渡せる贅沢な解放感、『一番』ということの優越感…

ところで、先日1級建築士の免許偽造事件が発覚しました。合格率は10%とも言われる言わずと知れた国家資格ですが、1級建築士と偽り業務を行っていたこの事件。

高いところへの憧れは色々な形で表れるようです。高みを目指すには一步一步着実に進んでほしいものです。

木造用制震装置「Hi ダイナミック制震工法」のご紹介－減震くん－

木造住宅の制震装置、「Hi ダイナミック制震工法」をご紹介。

新築でも改修でも取り付け可能で、人命はもちろん大切な家屋もお守りします。

揺れを吸収して強い家に！

「Hi ダイナミック制震工法」は、高層ビルなどで使用されているオイルダンパーによる地震対策技術を日本で初めて戸建住宅に適用した安価な工法。壁に組み込むだけなので、改築時にも簡単に取りつけ出来ます。



揺れを吸収

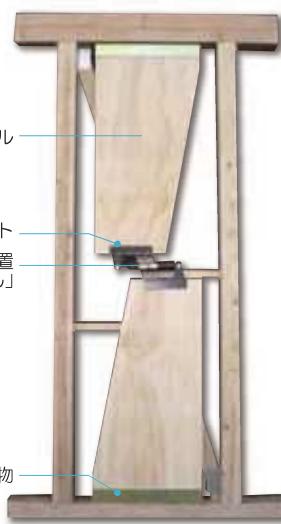
外壁設置型
【主に改修】

内壁設置型
【主に新築】



接続特殊パネル
スタッド
ブラケット
制震装置
「Kinchaku-kun」

外付用取付金物



接続特殊パネル
ブラケット
制震装置
「Kinchaku-kun」

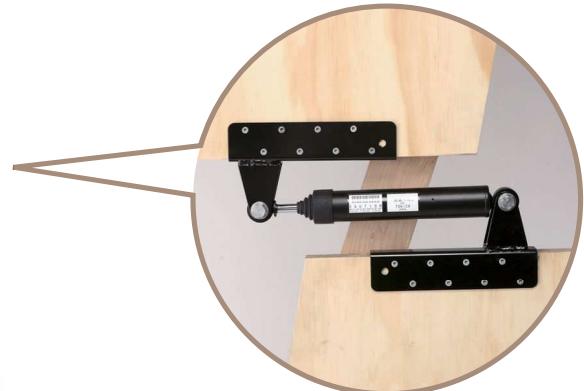
内付用取付金物

●

減震くん

ビル向けの制震用オイルダンパーで培った制震技術と、自動車用ショックアブソーバの量産技術を応用して日立オートモティブシステムズ（株）が開発した制震ダンパー「減震くん」。

スリムな形状でありながら、揺れの吸収力を高めることに成功しました。



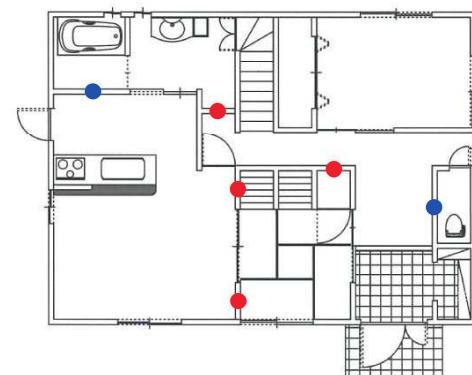
設置箇所の目安

地震がきた時の低減率を算出しています。30坪相当の家なら「Hi ダイナミック制震工法」は4セットからでも大丈夫。予算に合わせて納得の低減率をお選びいただけます。

※建物によって特性が異なりますので、必ずしも表の低減率になるとは限りません。

1階部分だけでも効果は十分！
外壁のみの施工も可能です。

低減率 (%)	装着本数 (本)		
	1階	2階	合計
20 ~ 25% OFF	4	0	4
30 ~ 40% OFF	6	0	6



生活を妨げない、簡単施工

木造住宅の壁面に制震装置を取り込む
簡単な工事です。施工性に優れ、
短工期で生活の妨げもありません。



メンテナンス不要

温度特性に優れ、1年を通じ
て安定した制震力を保ちます。



ローコスト

より多くのお客様に、
無理なくお勧めできます。



お問い合わせはこちら

E&CS 株式会社 E&CS

トグル制震事業部 ☎ 0120-109-686

〒213-0012 http://www.kk-ecs.co.jp

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 西棟 5F

TEL : 044-829-6725 FAX : 044-829-6799

改修については住宅補強補助制度で
補助金が受けられる場合があります。

